

令和8年度 学校経営計画書

学 校 名	倉敷市立福田中学校
校長氏名	荻野 博也

○本校のミッション（使命、存在意義）

人間尊重の精神を基調として、常に向上的意欲に燃え、誠実に生き抜く生徒の育成を期す。

- 意欲をもって、自ら考え学ぶ力を高める生徒・・・知
- 思いやりの心を持ち、自己に厳しい生徒・・・徳
- 心身ともに健康で、たくましく伸びゆく生徒・・・体

校訓
＜自主・誠意・友愛＞

○ミッションの追求を通じて実現しようとする本校の学校経営ビジョン（将来像、目指す姿）

- ・ 学ぶ楽しさを知り、自ら考え主体的に学ぶ生徒を育てる。
- ・ 自己肯定感を高め、感謝と奉仕、思いやりの精神に満ちた生徒を育てる。
- ・ 将来の夢や目標をもち、粘り強く努力を続けるたくましい生徒を育てる。
- ・ 生徒の成長を通じて、保護者や地域から愛され信頼される学校をつくる。

○ 当該年度の具体的な学校経営目標・計画

『 自ら学び 共に育つ ～一人ひとりが輝く福中～ 』

- 1 夢,目標をもち,その実現に向けて努力できる人に
- 2 自分で考え,判断し,行動できる人に
- 3 人や社会のために役立つことを喜びとを感じる人

- 学ぶ楽しさを知り、自ら考え主体的に学ぶ生徒を育てる。 「凡事徹底」
 ・ 授業規律を確立し、学ぶ環境を整備する。 「環境が人を創る」
 ・ 校内研修を充実させ、「基礎学力の徹底～基礎基本の徹底」を実践する。
 ・ ICT 機器の積極的な活用に加え、基礎・基本の確実な定着を目指す。
 ・ 小学校との連携とドリルパークを活用して、家庭学習の習慣化を図る。
 ・ 必要に応じて、個別の教育支援計画を作成・実践し、個への支援の充実に努める。
- 自己有用感を高め、感謝と奉仕、思いやりの精神に満ちた生徒を育てる。
 ・ 生徒が安心・安全に生活できる人的・物的環境を整備する。 「側に立つ指導」
 ・ 学級を基盤として、人権を尊重し、互いを認め合い支え合う温かい人間関係を築く。
 ・ 当番活動や生徒会活動等を通して、自己有用感を高める。
 ・ あいさつ運動等により、進んで気持ちのよい挨拶をする風土を醸成する。
 ・ 特別支援教育の手法（ユニバーサルデザイン）を生かした指導を心掛ける。
 ・ ボランティア活動に積極的に参加し、豊かな心情を育む。 「貢献」
- 将来の夢や目標をもち、粘り強く努力を続けるたくましい生徒を育てる。
 ・ 将来の夢や目標を叶えるために計画的にキャリア教育を推進する。「キャリア教育」
 ・ 失敗は成功への通過点であることを認識し、臆せず挑戦する態度を育てる。
 ・ 道徳や特別活動、総合的な学習の時間等を充実させ、豊かな心を育てる。
 ・ 生徒が提案、運営、活躍できる場を設定し、主体性を伸ばし、達成感を味わわせる。
 ・ 部活動の充実を図り、礼儀の習得とともに心身を鍛える。
- 生徒の成長を通じて、保護者や地域から愛され信頼される学校をつくる。
 ・ 生徒とともに伸びようとする教職員集団を目指す。 「教職員は学びのモデル」
 ・ 協働性を尊重し、生徒理解に努め、一人ひとりを大切にする教職員集団を目指す。
 ・ 保護者や関係機関等との連携を密にし、課題の早期解決に努める。「チーム福中」
 ・ 学校や生徒の様子を保護者連絡帳等で広く発信する。 「開かれた学校」
 ・ 授業参観や行事等の在り方を工夫し、保護者や地域の方々の参加を促進する。
 ・ 学校運営協議会（通称 CAFÉ）を中心に、地域人材を有効に生かし、地域と共に活性化する学校を目指す。